

鍼灸と漢方、併用するとどんなメリットがあるの？

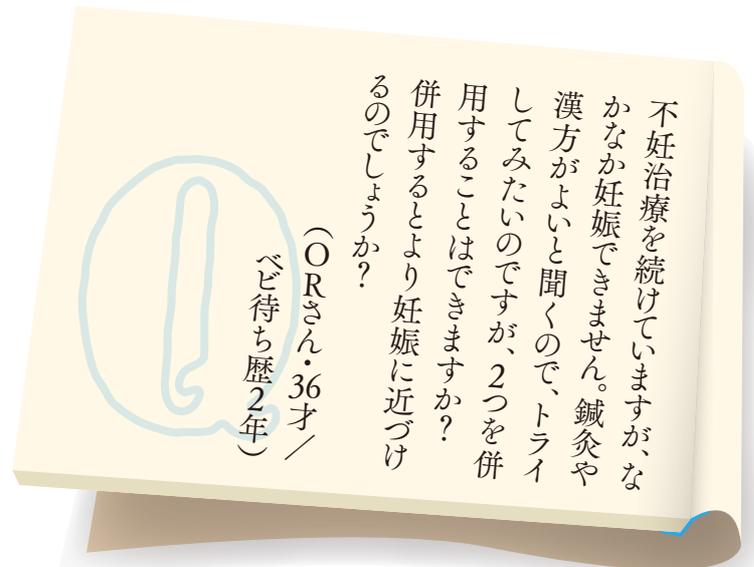
A 鍼灸と漢方を併用することが Q 妊娠への近道に



升屋栄貴堂薬局
ひきま鍼灸院 子宝ラボ

代表
引間 紀之さん

薬剤師、鍼灸師、不妊カウンセラー、埼玉不妊漢方の会会長。薬科大学卒業後、漢方専門薬局に勤めながら、鍼灸師の資格を取得。1995年に升屋栄貴堂薬局、ひきま鍼灸院を同時オープン。2015年11月には坂戸にひきま鍼灸院坂戸店をオープン。



1. 鍼灸では血のめぐりをよくするツボを使い、体をととのえます 2. 升屋栄貴堂薬局・ひきま鍼灸院寄居店 日曜・祝日休み 9:00~19:00 3. ひきま鍼灸院坂戸店 日曜・水曜・祝日休み 9:00~19:00(土曜18:00)

漢方と鍼灸は、同じ東洋医学の考え方をもとにした治療ですが、実はそれぞれ得意分野が違います。

漢方は、口から生薬を取り入れて、体の中をととのえる治療。妊娠するためには、なんらかの原因で落ちてしまった「妊娠する力」を元に戻す必要があります。漢方は、少ないものを増やすことが得意ですから、低下してしまった体力や機能を高めて、妊娠をサポートすることができるといえます。

鍼灸は外から体に刺激を与えることで、血液や神経の流れをよくして、体のバランスをととのえることが得意です。血流が悪いと、卵に栄養が届きませんし、神経の流れが悪ければ、脳からの妊娠に関する指令が、子宮や卵巣にまで伝わりません。鍼灸や漢方によってこれらを改善することで、妊娠しやすい体に近づけることができます。

実は本場・中国では、この2つを併用した治療はよく行なわれています。鍼灸と漢方、それぞれ違った作用をもつ方法を組み合わせるからこそ、相乗的な効果が期待できるのです。

とくに高齢のかたでは、卵子の老化が進み、卵巣機能は落ちて、妊娠が難しいケースが多くあります。そういうかたにこそ、落ちた機能を回復させることに長けている漢方がおすすりめです。高齢で時間的な余裕がないからこそ、鍼灸を併用して、短い期間でよい結果につながるといえます。

もちろん病院の治療との併用は全く問題ありません。アメリカの学会では体外受精の移植の際に、鍼灸治療を行なうことで成功率が上がる、という論文が発表されています。体外受精や顕微授精をサポートするうえでも有効な治療法だと考えられているのです。

当院ではこれらの治療だけでなく、生活スタイルのアドバイスも行なっています。最近では年齢によるものだけでなく、生活スタイルが原因で、体の老化を引き起こしている場合があるからです。食事、睡眠、ストレスなど、老化を招く要素に気付かず生活しているかたが非常に多いです。ですから、これらをトータルで提案しながら、短期間で成果をあげられるようにサポートしています。

升屋栄貴堂薬局
<https://www.kodakara.net>
住 埼玉県大里郡寄居町寄居929
電 0120-37-8893

ひきま鍼灸院 子宝ラボ
<http://www.kodakara-lab.com>
寄居店 住 埼玉県大里郡寄居町寄居929
電 048-577-8254
坂戸店 住 埼玉県坂戸市南町3-2
電 049-282-5552